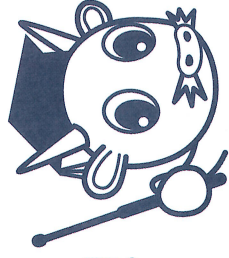


3つのステップで短歌を詠んでみよう！



?短歌ってどんなもの？

こころ うご けしき できごと ご しち ご しち しち さんじゅういちもじ い あらわ し
心を動かされる景色や出来事などを、五・七・五・七・七の三十一文字で言い表した詩です。
れい こえ だ よ
【例：声に出して読んでみよう】

さむ はな 5文字 7文字 7文字 7文字
「寒いね」と 話しかければ 「寒いね」と 答える人の いるあたにかさ (儀 万智)

STEP1 テーマを決めよう

どんなことを短歌にしたいか考えてみよう。
自分の好きなことや、楽しかったこと、感動したことなど、自由に選んでみてね。

テーマの例

- ・学校でのできごと
・家族、友達
・好きなスポーツ
・行ってみたいい場所
・夏休みの思い出
・好きな食べ物
・将来の夢
・動物、植物
・景色、風景

STEP2 つながりのある言葉を書き出そう

決めたテーマから思いつく言葉を、たくさん書いてみよう。
このときは、文字の数は気にしないで、頭にうかんできた言葉をたくさん書こう。

STEP3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2で集めた言葉を組み合わせて、「五・七・五・七・七」に当てはめてみよう。

でき上がったら、声に出して読んでみるといいよ。

※字余り (文字数が多いこと)・字足らず (文字数が少ないこと) でも大丈夫！
伝えたいことが表現できるように、いろいろな言葉を試してみてね。

上級者のあなたへ いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう！

- ① 比喩 (たとえる)
例：「雪」の比喩⇒「白い綿のような雪」
- ② 体言止め (最後が名詞で終わる)
例：「空が青い」の体言止め⇒「青い空」
- ③ 対句 (同じ構成の語を並べる)
例：おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に
- ④ 擬音語・擬態語 (音や様子を表す)
例：わくわく、どんより、ガタン、もりもり
- ⑤ 漢字とひらがなの使い分け (あえてひらがなを使うと、やわらかい印象になるよ)

第13回せいだま子ども短歌賞応募票

※ 三首まで応募できますが、入賞は一人一首です。

①

②

③

短歌の基本は「五七五七七」だけど、

「字あまり」、「字たらず」でも大丈夫。大きな字ではっきり書いてね!!

■ 学校名、学年、組

がっこうめい 学校名	さいたま 市立	がくねん 学年	くみ 組
---------------	------------	------------	---------

■ 氏名(ふりがな)

(ふりがな) しめい 氏 名

※この応募票は A4 サイズのまま、拡大・縮小せずに提出してください。